

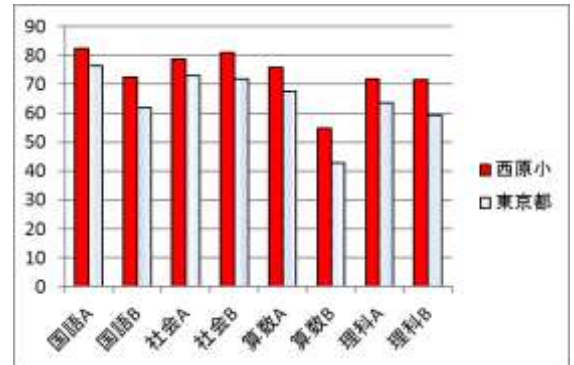


## 「面白い授業」を目指して

自ら考え、学び合い、表現する子の育成

校長 手代木 英明

西原小の子供たちにとって「面白い授業」とはどのようなものでしょうか。右のグラフは、昨年4月に5年生に対して行われた東京都学力調査の結果です。Aテストは「主に基礎・基本」、Bテストは「活用問題」です。本校の子供たちは、東京都平均をどの教科も上回っています。特に読解が難しいBテストの点数が高いことが特徴です。そんな子供たちが、「面白い」と感じる授業は、知的好奇心をもち、自らが疑問に思ったことを友達と協力して解決していく授業です。



本校では、児童の実態を踏まえ「自ら考え、学び合い、表現する子の育成」をテーマに、理科の授業を中心に問題解決

学習を行う授業改善を進めてきました。また、夏休みの自由研究に対して「校長賞」の表彰をしたり、各教科で学んだ「知をつなぐ」カリキュラム・マネジメントをしたりしてきました。「知をつなぐ」ということを、3年の学習を例に説明すると、国語に「ちいちゃんのかげおくり」という戦争中の悲しい物語があります。ちいちゃんは、最後の影送り（晴れた日に地面にできる自分の影をじっと見た後、空を見上げると青空に自分の影が見える。）を朝のうちにします。その後、理科で1日の影の動きを学習します。そこで、「ちいちゃんが影送りをした空の方位は？」と考えさせます。「午前中の太陽は、南東にあるから影は北西にできる。影を送った空は北西！」と答えられれば正解です。

このような教科書で得た知を活用する学習を積み重ねてきたことで、理科好きな子が増えてきました。国際学力調査TIMSS2015で、日本の子供たちの課題として指摘された「理科を勉強すると日常生活に役立つ」という問いに「そう思う」と回答した西原小の子は、国際平均（国際平均83ポイント、日本の中学生平均62ポイント）をはるかに超える95ポイントでした。「科学技術に関する職に就きたい」と回答した子も10ポイント増えました。これは、本校が進めている授業改善等の取り組みの成果ととらえています。今後も「授業が面白い」と感じる子が一人でも増えるように努力していきたいと思えます。

## ありがとう6年生

2月23日(木)に「6年生を送る会」と「お別れ給食会」が行われ、これまで、西原小学校をリードしてきた6年生に対する感謝の気持ちを表しました。各学年の出し物には、お礼の言葉、メッセージ、ことわざ、寸劇や合唱・合奏がありました。どれも卒業する6年生への尊敬と感謝の気持ちがこもっていました。6年生の鼓笛演奏に何度もアンコールがあり、演奏に合わせて、みなで踊って盛り上がりました。



優しい6年生に感謝します。

## リトルティーチャー 「代々木中学3年生が算数の先生に」

2月24日(金)に代々木中学校3年生の生徒21名が来校し、3年生と4年生の算数の授業に入り、リトルティーチャーをしました。「中学生のお兄さんお姉さんに教えてもらおうと分かりやすい。」と好評でした。代々木中学校の皆さん、ありがとうございました。



教え上手な代々木中生徒

## 平成29年度の主な行事

- 運動会 5月27日(土)
- 展覧会 1月26日(金)~27日(土)
- 4年山中移動教室 6月5日(月)~7日(水)
- 5年富山臨海学園7月21日(金)~23日(日)
- 6年那須自然体験教室 7月25日(火)~27日(木)
- 土曜授業 4/22 5/13 6/17 7/1 9/16 10/14 11/18 12/2 1/27 2/10 3/3